



西幼だより

令和7年度 最終号 令和8年3月17日
新潟市立西幼稚園

【教育目標】
しなやかに
たくましく



(西幼稚園 HP)

ブログも見てね!

みんな で過ごした毎日の中で

園長 渡邊 舞

2月に年長さんが近くのこども園との交流で出かけた日のこと。到着してすぐに、そのこども園にある、子どもたちが10人入ると満員になりそうな素敵な空間を見付けました。そして入った年長さんの第一声は「わあ、ここいいね!ここ、西幼稚園のみ～んなで入れるね」でした。そして「みんなも一緒に連れてきたかったね」と続けました。一緒に過ごしてきたお友達を離れていても忘れずにいる姿に、“みんな”を大切に想っていることを感じ、とてもうれしい気持ちになりました。その後、園に戻った年長さんは、その場所の写真を年少さん、年中さんに見せながら、「みんなで入れそうだったんだよ」と話していました。年少さん、年中さんは、とても興味深そうに聞いていました。



でかけたときのことを伝える年長さんと聴き入る年少さん



感じたことを伝え合いながらカエルを見守るみんな

野菜の苗に水やりをしていた年長さんの姿を見て、年少さんや年中さんもジョウロを取りに行き、隣で同じように水やりをしていた日のこと、園庭のカエルを追いかけて、みんなで感じたことを伝え合っていた日のこと、給食のテーブルを年長さんが運び始めると、年少さん、年中さんもそれに気づいて一緒に運びようになった日のこと、ライトを照らして、影のおもしろさを発見し、飛び跳ねながら影の動きを楽しむ年長さんを見て、みんなで飛び跳ねて遊んだ日のこと。



影もとびはねている!と発見して

こと。振り返ると、いつも3学年の“みんな”と一緒に、人、もの、ことにかかわってきました。年齢も発達も違う3学年で一緒にいると、それぞれのものの見方、考え方が合わさり、相乗効果となって、思いがけない発見につながったり、楽しさが広がったり、「もっと〇〇したい」と深い学びへと発展する経験につながったりする毎日でした。異年齢で過ごす生活に対し、年度当初、年上の子が年下の子に優しく声を掛ける、年下の子が年上の子にあこがれを抱くという姿は容易に予測できることでした。しかし、12人は、私たちの想像をはるかに超え、年齢、学年問わず、お互いを思い合い、信頼しながら、育ち合う姿が見られたのです。その根底には『安心感』がありました。お互いを大切な存在と認め合い、大切にしていることを感じながら、子どもたちがその子らしく成長していることを強く感じました。

子どもたち一人一人の新しい春がやってきます。子どもたちを真ん中に、いつも温かく包み込み、ご協力いただきました、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。私たちは、保護者の皆様のご支援による安心感のもとで、園運営を行うことができました。保護者の皆様とともに、“みんな”が家族のような温かい雰囲気子どもたちの成長と一緒に喜べることをうれしく思います。西幼稚園にとって、51年目がスタートします。令和8年度も、子ども、保護者の皆様、地域の皆様、そして職員にとって、さらにワクワクした幼稚園となるよう、職員一同、より一層努力してまいります。



令和8年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

にしようちえん

なかよしのみんな

だいすきなみんな

